

閉鎖性海域における水環境改善技術分野の進捗状況

平成 19 年 7 月 27 日
閉鎖性海域対策室

1. 本分野の経緯と進捗状況

(ア) 平成 18 年度の経緯

平成 18 年度はWG を計 5 回開催し、実証試験要領を取りまとめるとともに、宮城県、大阪府、兵庫県を実証機関に選定した。

(イ) 平成 19 年度の進捗状況（内容については添付資料を参照）

平成 19 年度のWG 開催は計 5 回を予定し、既に第 2 回を開催している。

5 月 31 日 第 1 回開催：実証対象技術を承認

6 月 28 日 第 2 回開催：実証機関から実証試験計画を報告

(ウ) 実証機関における実証試験の進捗状況等

宮城県 7 月 18, 25 日に現地据え付け、7 月 31 日に第 1 回観測（水質、生長量、生物種）を実施予定。

大阪府 7 月 22 日より現地にて水質データ等の収集を開始。微細気泡発生装置については 7 月 30 日に設置の予定。

兵庫県 8 月下旬～ 9 月上旬に予定する 4 日間の実証実験実施に向け調整中。

(エ) WG の構成

上嶋 英機 広島工業大学 環境学部地域環境学科 教授

岡田 光正 広島大学大学院 工学研究科 教授（座長）

中嶋 昌紀 大阪府環境農林水産総合研究所 水産研究部 主任研究員

中村 由行 (独)港湾空港技術研究所 海洋・水工部 沿岸環境領域長

西村 修 東北大学大学院 工学研究科 教授

松田 治 広島大学 名誉教授

2. 今後の予定

夏以降、担当者会議等により実証試験の進捗状況を確認

平成 20 年 1 月頃 第 3 回WG：実証試験結果の報告

平成 20 年 2 月頃 第 4 回WG：実証試験要領の見直し

第 4 回WG を受け、平成 20 年度の実証機関を公募

平成 20 年 3 月頃 第 5 回WG：平成 20 年度の実証機関の審査、選定